

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和6年度	会計コード	35	介護保険会計	事業コード	25339	
事業名	介護予防センター等運営費						
評価担当課	所 属	保)高齢保健福 介護保険課			電話番号	011-211-2547	
施策名	－						
アクションプラン	○ 対象 ● 対象外						
事業の性質	● 経常経費 ○ 臨時的経費			○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理費			
	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助・助成 ○ その他						
事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	高齢者人口が増加する一方で、年少人口や生産年齢人口が減少しており、札幌市における人口構造にも変化が生じていくことが見込まれている。中でも、75歳以上の後期高齢者人口の増加が著しく、介護や支援を要する高齢者の増加が予想される。今後、増大する医療費や介護、支援のニーズに限られた資源で持続的に対応していくため、高齢者が要介護状態に至るのを予防するためには、社会性の維持と健康管理が必要との考えのもと、人と人とのつながりを通じ、介護予防に資する住民主体の活動が広がっていくような地域づくりを目指していくことが必要。					
	事業内容(何を実施し)	①介護予防センター運営事業:総合相談支援、介護予防事業の実施及び介護予防の普及・啓発、地域介護予防活動の支援 ②介護予防普及啓発事業:住民主体による介護予防活動の拡大、継続的な活動への動機づけを支援する等を通じ、介護予防の普及啓発を実施					
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	高齢者が住み慣れた地域で安心して過ごすことが出来るように、包括的かつ継続的な支援を行う地域包括ケアを推進する。					
	他都市の状況	介護保険法に基づく市町村の必須事業であるため、全ての市町村で一般介護予防事業として実施している。					
	市民参加の実施	☐ 企画 ☒ 実施 ☐ 評価 ☐ 対象外					
令和5年度決算額	579,131 千円	うち特定財源	579,132 千円	正規職員業務量	1.7 人	工	
令和6年度予算額	600,712 千円	うち特定財源	600,712 千円	正規職員業務量	0.5 人	工	
令和6年度決算額	584,328 千円	うち特定財源	584,328 千円	正規職員業務量	0.5 人	工	
令和7年度予算額	600,806 千円	うち特定財源	600,806 千円	正規職員業務量	0.5 人	工	
指標	アウトプット活動指標1	介護予防普及啓発事業実施回数			という活動、業務を行うことで		
		令和5年度実績	令和6年度予定	令和6年度実績	令和7年度予定	令和8年度予定	令和9年度予定
		6006	6100	6090	6100	6100	6100
	↓						
	アウトカム成果指標1	住民主体の通いの場への参加率			という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和5年度実績	令和6年度予定	令和6年度実績	令和7年度予定	令和8年度予定	令和9年度予定
		6.9	6.3	#NAME?	7.5	8	8
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	介護予防普及啓発事業実施回数の目標は僅かながら未達成であるものの、令和6年度の普及啓発事業への参加者人数は令和5年度実績の1. 2倍となっており、より多くの方に向けて取組みが実施できている。					
	アウトプット活動指標2	介護予防に資する地域活動組織の育成及び支援回数			という活動、業務を行うことで		
		令和5年度実績	令和6年度予定	令和6年度実績	令和7年度予定	令和8年度予定	令和9年度予定
4979		4800	5031	5050	5050	5050	
↓							
アウトカム成果指標2				という状態にしたい、成果を挙げたい			
	令和5年度実績	令和6年度予定	令和6年度実績	令和7年度予定	令和8年度予定	令和9年度予定	
指標2の評価、未達理由、今後の考え方	介護予防に資する地域組織の活動の活性化や、その活動が継続されるよう、支援を実施した。運営に係る参加者の高齢化に伴い、継続の難しさを感じる団体等も増えていることから、適切な支援が行えるよう、取り組んでいく。						
今年度の見直し内容	なし						
来年度以降の方向性	地域における住民主体の通いの場が充実していくように、引き続き、地域づくり、人材育成等の支援を行う。						